

君に贈る物語

先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、
それぞれ感想を寄せてもらいました。

後輩：兜森早也佳のレビュー

この本にはタイトル通り、会社で名を残せるような伝説の新人になるための習慣が書かれています。当たり前だけど大切なことからストイックな内容まであり、平凡に楽しく生きることを目標としている私にとっては衝撃的でした。何か大きなことを成し遂げようとする人は、心構えが違ふと感じました。特に印象的な習慣が、時間の有効活用法です。習慣の一つとして、隙間時間をフル活用することが書かれています。隙間時間というのは、移動時間や様々な待ち時間のことで、1日の隙間時間を合計すると平均して約2時間なんだそうです。私自身、移動時間はよく音楽を聴いて、ただリラックスして過ごしてしまうことが多いです。なので今回、この本を移動時間の中で読んでみることにしました。すると意外と時間がかからずに読み終えることができ、今までいかに時間を有効活用できていなかったか改めて実感しました。効率的な時間を過ごすポイントとしては、あらかじめ隙間時間にやるべきことを一つに絞っておくことだそうです。

読後の感想は、必ずしも伝説になりたい人だけに参考になる内容ではなく、働く人全てに向けて効率のいい過ごし方が書いてあるということです。この本は若い世代の新人をターゲットとしていますが、先ほども書いた隙間時間の使い方や当事者意識の話など、どんな年代の人でも通じる部分があると感じました。早いもので私ももう今年で社会人3年目に突入しましたが、未完成な部分はまだあります。この本で学んだことを活かしながら、日々スキルアップしていけるように頑張りたいと思います。

★お読みになりたい方に貸出します！弊社担当営業までお声がけください。

マーケティンググループ
兜森早也佳

先輩：青山 寛のレビュー

兜森さんは、今年で入社3年目。とても明るい性格で、フランクなトークに定評があり、多数のお客様からも愛されています。そんな兜森さんですが、先日誕生日を迎え25歳になったばかりにも関わらず、「どうしよう…もう四捨五入したら30ですよ～」などとネガティブな事を言ったり、また最近はどうも毎日をルーチン的に過ごし気味で、入社当時のガツガツした勢いが薄れてきているのではないかと感じる事があります。そうさせてしまっている要因は私の責任でもあると思います…。ただ、まだ入社してたったの3年目!! まだ新人として扱われ、まだまだ成長できる時だと思っています。そんな兜森さんに是非、いま築きかけている少し怠惰気味な習慣をぶっ壊し、しっかりと行動習慣と思考習慣を身に付けてもらい、常に意識を高く持ちチャンスにガンガン挑戦していく「伝説の新人」となってもらいたく、この本を推薦本としました。

本書は、普通の新人とは桁外れで、「伝説」とまで呼ばれるほどのキーパーソンになるにはどうするべきか?という事を「10個の比較」で語られています。特に注目してほしいと思った点は「101%の法則」です。新人に限らず、どんなにベテランになっても仕事をしていく上で絶対に忘れてはいけない重要な考え方だと思いますが、常に相手の期待値をイメージし、その期待値を1%でもいから上回ろうと考え、行動することの大切さ。この意識で1%オンされた行動の違いが、相手に強い印象を残し、好循環に導くという事。そしてこの101%の法則(良い仕事)を毎回続けることでチャンスが更なるチャンスを呼ぶという事です。私自身も、毎日の業務が重なりどうしても考えることが億劫になりがちですが、常にどうしたら100%を超えられるか、考える習慣をつける必要があると思いました。このたった「1%」ができるかどうかの仕事をする上でかなり重要だと思います。

マーケティンググループ
青山 寛

今回の書籍

「伝説の新人 20代でチャンスをつかみ突き抜ける人の10のの違い」
著者：小宮謙一、紫垣樹郎
出版：集英社
価格：¥1,430 (税込)



ぷちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

Lesson#2 余白(ホワイトスペース)を作っていますか？

素人には一見中身がないように思える余白(ホワイトスペース)ですが、デザイン界ではこの使い方こそ、重要なテクニック。あなたも余白を上手に活かして、情報をすっきりと見やすく、印象的に伝えるコツをマスターしましょう。



ねえ今ワタシに貸付いたでしょう？
これがホワイトスペースの効果なのよ

心得1 余白=「スカスカ」「手抜き」ではない。
とにかく伝えたいことをスペースいっぱい盛りにしてしまうのが、素人の悪い癖。余白ができると怖いような気もしますが、実は余白にはそれ以外の部分に視線を集める効果や、センス良く見せ、いわゆる上品な「抜け感」「ゆとり」を演出できる効果があることを意識しましょう。

心得2 内容は整理、やたらと装飾しない。
伝えたい情報がいろいろあると、目立たせるために枠で囲ったり飾りをつけたりしたくなりますが、結局どれが大事な情報かわかりにくくなり逆効果。伝えたい情報は整理し、絞り込むこと。「文は簡潔に」「無駄な装飾は控える」、この2点を意識すると、余白を作りやすくなります。

心得3 塊ごとに、間をとって整理

あまり考えずにいろんな情報をあちこちに並べているうち、余白がなくなってしまうのも、よくあるパターン。まず、関連した要素はひとつの塊にまとめるようにしましょう。次にそれらの塊の間にスペースを取り、整理させると、自然と規則正しい余白が生まれ、すっきりと見やすくなります。

～編集後記～

▲先日、日本でイチローが活躍していた時代の試合がテレビで再放送されていました。番組では阪神大震災から再開して間もない1995年の中継映像とともに、当時の流行語も紹介。大賞の「NOMO」「がんばろうKOBE」に加えて、なんと「インターネット」も新語として受賞していたのは驚きでした。画面下ではリアルタイムで視聴者のつぶやきがTwitterで流れ、「Windows95も、この年かあ」「今ではテレビ経由でTwitterを使ってつぶやく時代に(笑)」と、試合そっちのけで盛り上がっていたのが印象的でした。

▲今号の「若手のトリセツ」で取り上げた「Z世代」は「インターネットがなかったころのコミュニケーション」を知らない世代ともいえます。昨今はSNSでの誹謗中傷やフェイクニュースなどの問題も表面化していますが、1995年当時を懐かしむ世代もその経験を活かしつつ、大人としての良識でこれからの世代を見守っていくべきなのかもしれません。



Tel:(052)331-8881(代) Fax:(052)332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>

VOL. 65 2020

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引
頂いたお客様や、名刺交換をさせ
て頂いた方に、季刊で役立つ? 楽
しい? 情報をお届けしています。
どうぞ皆様でご回覧ください。
また、毎号同梱している人気の
オマケグッズも、ぜひデスク周り
やご家庭でお使いくださいネ!

料金後納

ゆうメール

▼ブロック2本詰め



贈答にも喜ばれる逸品

鎌倉ハム富岡商会
<http://www.kamakuraham-tomiokashop.jp/>

2 鎌倉ハム
名前に鎌倉がついていますが、その誕生の地は横浜市戸塚区。当時の地名が「神奈川県鎌倉郡川上村」だったことに由来します。明治時代に日本初のハム工場として誕生し、大正時代には関東大震災の被害により、養豚業者がさんだつた名古屋に工場をオープン。これが「クワイナ」などでおなじみの名古屋の企業「鎌倉ハム」です。このほか「鎌倉ハム」の名で製造を行う企業は数社あり、鎌倉「小町通り」に本店を構える「鎌倉ハム富岡商会」は観光客にも人気です。



▲「鎌倉」12枚入り

4 鎌倉山ラスク
カラフルな渦巻きや星型のラスクは、可愛さはもちろんです。かまぐら推奨品「全国推奨観光土産品」などに認定された本格派の味わい。いろんな風味の甘いラスクのほか、びつぽう味が効いた「きんぴらごぼう味」(8枚入り750円・税込)もお試しあれ。

鎌倉山ラスク
<http://shop.kamakurayama-rusk.com/>

1 シウマイ
全国的に有名な「崎陽軒」は桜木町の駅の売店としてスタートし、シウマイの販売を始めたのは昭和3年のこと。日本で初めてシウマイを提供したのは、明治初期に中国・廣東省出身者が創業した「博雅亭」。現在も「ヨコハマ博雅茶郷」でお取り寄せが可能です。



博雅
<http://hakuganet/>

港町の日本で初めてグルメ



お取り寄せ
グルメ



3 ビール
一説に明治2年、横浜の山手に日本初の醸造所ができたのが始まりだそう。その翌年、商業的な醸造所として誕生したスプリングバレーブルワリーの精神は現代の麒麟ビール横浜工場に継承。オンラインショップでオリジナルビールが購入可能です。



▲おうちで「ビアフライド」セット

KIRIN
<https://drink.kirin.co.jp/>

スペシャル
おまけ

実はサラダ劇団史上初! ノベルティの定番アイテム「ボールペン」です!!

<3色ボールペン+タブレットやスマホの画面に指で触れずに操作できるタッチペン付き。withコロナの今、重宝すること間違いナシ!>

OVER 40のための

若手の
トリセツ

Z世代はSNS・動画をこう使う！

今回取り上げるのは1996～2015年の間に生まれ、スマホを当たり前のように使いこなす、いわゆる「Z世代」のSNSの利用法。これからの広告・広報戦略を考える上でも参考になりそうです。

今回の主なサンプル社員



1996～2015年生まれ社員たち

「ググる」は一世代前の行為?!

少しでも手が空いたらスマホを手にしているというZ世代。弊社の若手社員を調査したところ、彼らがよく見ているのはInstagramもしくはTwitterなどのSNS。「積極的に投稿するタイプ」と、「見るだけのタイプ」はほぼ半々に分かれています。投稿派は「映える」ことを目標にしているというよりは、「作品」を投稿して「いいね」をもらいたいクリエイター指向がうかがえたり、仲間内に気軽に近況報告をする目的がメイン。見るだけ派は趣味や関心のある事柄について情報収集したり、仲間を探したりするためにSNSを活用しています。

そして、どちらにも共通しているのが、SNSのタグ(投稿文についている#マークのキーワード)をもとに、世間でつぶやかれている声を参考にしたり、同じ趣味の仲間と話題を共有したりする「タグる」という行動。少し前まで、知りたいことはまず検索エンジンで関連したホームページを調べる「ググる」だったのと対照的です。

Z世代

タグる
SNSを「見る」

ホームページは情報が古い

企業サイトは広告的。いいことしか載せていない

ググるのは、言葉の意味や漢字がわからないときに、辞書的に使うのが主

SHARE

SNSなら短い文と写真や動画でババっと情報収集できる

SNSはみんなの生の声がほぼリアルタイムでわかる

SNSの動画配信機能を使って今何をしているか、仲間へ報告。コメントもその場で受け取れる!

ミドル
シニア層

ググる
ホームページを「読む」

ググるって
もはや死語?動画は今や
コミュニケーションツール

コロナ禍での外出自粛をきっかけに全世代でおなじみの媒体となったYouTubeですが、「ハウツーや商品の口コミは文字よりわかりやすいから、まずYouTube」と、検索ツールとしても活用しているのがZ世代の特徴。

また、Instagramの動画配信機能「インスタライブ」などのSNSを介した動画の利用にも積極的です。芸能人などが配信する動画を楽しむだけでなく、仲間内に「今こんなことをしてるよ」と伝えるためにライブ配信をしているのもZ世代ならではの「人気動画で注目されたい」とか「成功したい」というのが目的ではなく、彼らには気軽なコミュニケーションツールのひとつが動画なのです。

ミドル・シニア層も、かつてはケータイで写メを送りあって楽しんでいたはず。あの感覚がアプリの進化とともに動画に置き換わり、誰でも当たり前のようにライブで配信しあえるようになった、というわけです。ただ、ミドル・シニア層は仲間内で完結していたのに比べ、Z世代はSNSを通じて比較的オープンなつながりである点が大きな違いと言えるかもしれません。

Good Company, Good Job!

きらりと光る
企業さん

アイビーイー・テクノ株式会社 様

- 創業 1985年
- 本社所在地 愛知県西尾市西幡豆町郷中18
- 名古屋支店 愛知県名古屋市中区錦2丁目4-23
シトラスTビル3-A
- 事業内容 パイウォーターシステムの研究開発・製造・販売
- HP <http://ibe-techno.com/>



植物生理の研究から生まれたπ(パイ)ウォーター

1964年、名古屋大学農学部五島善秋教授と山下昭治博士は、植物生理の研究に取り組む中で、植物の花芽分化の段階で重要な鍵となっているのが植物の中にある「水そのもの」だということに気づきました。山下博士は、この生体水に限りなく近い水を「π(パイ)ウォーター」と命名。その後、πウォーターは花芽分化だけでなく、動植物の健全育成、人間の健康維持にも極めて重要な役割を果たすことが解明されていきます。

生命を健全な状態で育んでいくπウォーターを一人でも多くの人に届けられるよう、さまざまな製品への応用に取り組んできたのが山下博士らと共にπウォーターの研究に従事してきたIBEの創業者・牧野伸治博士です。1975年の創業から45年、IBEは人の健康を保つため、地球の環境を守るために、πウォーターを基軸とした家庭用浄水器、業務用大型浄水器、各種ヘルスケア商品を開発。一般家庭はもちろん、その商品は、農業、工業、畜産、食品、美容、医療など多岐に渡る分野でも活用されているほか、国内のみならず、香港、マレーシア、タイ、フィリピン、オーストラリア、アメリカ、中国、ハンガリー、EU(オーストリア、ドイツ、スペイン他)、台湾、韓国、ナイジェリア等、世界20カ国以上で販売されています。

人生100年の時代。ただ寿命を伸ばすだけでなく、しっかりと健康を維持しながら、いかに長生きするかが問われている今、人の体のおよそ6割を司る「水」にあらためて注目が集まっています。「いい水を、一人でも多くの人に、多くの場所へ」。創業の理念を大切に、これからもIBEはπウォーターの研究を重ね、人の健康と地球環境の維持に貢献できるさまざまな商品の開発を続けていきます。



Information

News 1

所在管理をアプリでデジタル化
withコロナに対応していきます!!

ソーシャルディスタンス確保のため、当社ではこれまでひとつの空間にいた営業スタッフを分散させることになりました。これにより在籍状況が掴みにくくなるため、この度アプリを使ったデジタルホワイトボードを導入しました。

外回り中、予定が変更になった営業がスマートフォンから行動予定を修正したり、内勤スタッフが目の前のPCから営業の在社状況・帰社時間を移動することなく知ることができるなど、オンライン化のメリットをさっそく感じはじめています。



BEFORE



AFTER

News 2

「技能検定1級」に合格しました!!

この度デザイナーの宮丸とDTPオペレーターの大野が、プリプレス職種の技能検定(国家資格)にて1級を取得しました。これは印刷の前工程に関する幅広い知識と、高い組版技術を擁する者にも与えられる資格です。2人とも見事一発合格を果たし、その実力を証明してみせました!!

当社ではこのように経験・実績豊富なスタッフが多数在籍し、皆様のお仕事を担当させていただいておりますので、どうぞ安心してお任せください。



合格